



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年8月1日

上場会社名 FCM株式会社
 コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市居 律雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 丸山 仁

TEL 06-6975-1324

四半期報告書提出予定日 平成29年8月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,483	26.5	51	21.8	50	22.0	33	21.1
29年3月期第1四半期	4,333	21.3	66	74.8	65	75.1	42	75.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	19.83	
29年3月期第1四半期	25.14	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	11,154	4,081	36.6	2,395.76
29年3月期	10,811	4,079	37.7	2,394.70

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 4,081百万円 29年3月期 4,079百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		32.00	32.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		35.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,771	13.2	99	2.6	95	3.3	60	7.4	35.22
通期	19,707	4.3	313	9.2	305	9.1	195	9.5	114.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	1,704,267 株	29年3月期	1,704,267 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	534 株	29年3月期	534 株
----------	-------	--------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	1,703,733 株	29年3月期1Q	1,703,733 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は売上高5,483,921千円(前年同期比26.5%増)、営業利益51,696千円(前年同期比21.8%減)、経常利益50,962千円(前年同期比22.0%減)、四半期純利益33,788千円(前年同期比21.1%減)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

(電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は1,735,153千円(前年同期比18.1%増)となりました。民生関連だけでなく自動車関連、産業機器関連でも引き合いは旺盛で、受注は増加傾向となっています。しかしながら、スマートフォン向けコネクタなどで製品仕様や加工要求がますます厳しくなっており、生産コスト増加の要因となっています。研究開発費27,552千円の負担も含めて、当セグメントの経常損失は14,279千円(前年同期は経常利益50,655千円)となりました。

(電気機能線材事業)

電線・配線用ケーブル・通信用ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、売上高は3,748,768千円(前年同期比30.8%増)となりました。銅建値が前年同期に比べて約20%上昇していることに加え、当セグメントの主力である建設・電販向けが順調に推移しています。平角・異形線なども好調で設備の稼働率が上がった結果、当セグメントの経常利益は65,241千円(前年同期比344.1%増)となりました。

売上高

単位(千円)

	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	1,468,659	33.9%	1,735,153	31.6%	18.1%
電気機能線材事業	2,865,114	66.1%	3,748,768	68.4%	30.8%
合計	4,333,774	100.0%	5,483,921	100.0%	26.5%

加工売上高

単位(千円)

	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	769,448	74.6%	768,456	70.7%	△0.1%
電気機能線材事業	261,360	25.4%	318,729	29.3%	22.0%
合計	1,030,809	100.0%	1,087,185	100.0%	5.5%

(注) 当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

(2) 財政状態に関する説明

(貸借対照表の状況)

総資産は11,154,871千円となり、前事業年度末に比べ343,241千円増加しました。これは受取手形及び売掛金の増加278,248千円などによるものです。

負債合計は7,073,134千円となり、前事業年度末に比べ341,431千円増加しました。これは買掛金の増加95,624千円、短期借入金の増加350,000千円、1年内返済予定の長期借入金の減少9,996千円及び長期借入金の減少113,982千円などによるものです。

純資産は4,081,737千円となり、前事業年度末に比べ1,809千円増加しました。これは、当第1四半期累計期間の四半期純利益、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の増加を反映したものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べて28,899千円増加し、158,136千円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、117,542千円の支出(前年同四半期累計期間は295,063千円の収入)となりました。主な収入は税引前四半期純利益52,462千円、減価償却費128,449千円、仕入債務の増加額95,624千円であり、主な支出は売上債権の増加額278,248千円及び法人税等の支払額54,072千円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出20,262千円などにより25,052千円の支出(前年同四半期累計期間は243,557千円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減による収入350,000千円、長期借入金の返済による支出123,978千円、配当金の支払額54,527千円などにより171,494千円の収入(前年同四半期累計期間は160,631千円の収入)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間においては、電気機能線材事業では受注・出荷ともに順調で、計画を若干上回っての推移となっています。一方の電子機能材事業では、加工難易度が上がったことへの対応に引き続いて取り組んでおり、一定の成果が出始めています。受注自体は増加傾向の見込みとなっているため、第2四半期以降も継続して課題解決にあたっていきます。

なお、平成30年3月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	129,237	158,136
受取手形及び売掛金	4,978,400	5,256,648
仕掛品	472,603	499,006
原材料及び貯蔵品	493,569	503,703
繰延税金資産	17,303	10,508
その他	16,013	81,863
流動資産合計	6,107,127	6,509,867
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	979,311	959,919
機械及び装置(純額)	1,381,270	1,315,539
土地	1,863,981	1,863,981
建設仮勘定	14,617	18,656
その他(純額)	254,058	245,630
有形固定資産合計	4,493,239	4,403,728
無形固定資産	16,292	19,832
投資その他の資産		
投資有価証券	27,470	59,662
繰延税金資産	154,508	149,480
その他	12,991	12,300
投資その他の資産合計	194,970	221,443
固定資産合計	4,704,503	4,645,004
資産合計	10,811,630	11,154,871

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,084,408	3,180,033
短期借入金	100,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	1,395,992	1,385,996
未払法人税等	64,965	21,872
役員賞与引当金	2,300	-
その他	292,673	344,110
流動負債合計	4,940,340	5,382,012
固定負債		
長期借入金	1,232,463	1,118,481
退職給付引当金	487,183	500,925
その他	71,715	71,715
固定負債合計	1,791,362	1,691,121
負債合計	6,731,702	7,073,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	2,566,828	2,546,097
自己株式	△1,247	△1,247
株主資本合計	4,080,201	4,059,470
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△272	22,267
評価・換算差額等合計	△272	22,267
純資産合計	4,079,928	4,081,737
負債純資産合計	10,811,630	11,154,871

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,333,774	5,483,921
売上原価	3,940,290	5,103,758
売上総利益	393,483	380,163
販売費及び一般管理費	327,413	328,466
営業利益	66,070	51,696
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	565	600
受取賃貸料	1,077	1,077
スクラップ売却益	220	694
その他	1,241	1,750
営業外収益合計	3,104	4,124
営業外費用		
支払利息	2,104	2,329
売上割引	1,190	1,378
賃貸費用	522	253
その他	11	897
営業外費用合計	3,829	4,858
経常利益	65,345	50,962
特別利益		
固定資産売却益	—	1,499
特別利益合計	—	1,499
特別損失		
固定資産除却損	1,207	0
特別損失合計	1,207	0
税引前四半期純利益	64,138	52,462
法人税、住民税及び事業税	13,842	16,195
法人税等調整額	7,468	2,477
法人税等合計	21,310	18,673
四半期純利益	42,827	33,788

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	64,138	52,462
減価償却費	102,894	128,449
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,200	△2,300
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,605	13,741
受取利息及び受取配当金	△565	△602
支払利息	2,104	2,329
固定資産売却損益 (△は益)	-	△1,499
固定資産除却損	1,207	0
売上債権の増減額 (△は増加)	373,795	△278,248
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△42,169	△36,537
仕入債務の増減額 (△は減少)	△95,596	95,624
その他	△9,414	△35,149
小計	394,799	△61,729
利息及び配当金の受取額	565	602
利息の支払額	△2,096	△2,343
法人税等の支払額	△98,205	△54,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	295,063	△117,542
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△316	△306
有形固定資産の取得による支出	△233,922	△20,262
無形固定資産の取得による支出	△8,588	△4,604
その他	△730	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△243,557	△25,052
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	350,000
長期借入れによる収入	680,000	-
長期借入金の返済による支出	△84,774	△123,978
配当金の支払額	△134,594	△54,527
財務活動によるキャッシュ・フロー	160,631	171,494
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	212,137	28,899
現金及び現金同等物の期首残高	176,671	129,237
現金及び現金同等物の四半期末残高	388,809	158,136

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	1,468,659	2,865,114	4,333,774
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,468,659	2,865,114	4,333,774
セグメント利益	50,655	14,689	65,345

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	1,735,153	3,748,768	5,483,921
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,735,153	3,748,768	5,483,921
セグメント利益又は損失 (△)	△14,279	65,241	50,962

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。